

と語る会》

8月22日から8月30日にかけて、本町議会主催による【住民と議会と語る会】を、菱田地区、野方地区及び大崎地区で開催いたしました。議会の仕組みや役割について説明をし、その後意見交換を行いました。

【語る会の内容抜粋】

式に改修して欲しい。

Q：語る会で配布された資料に一般質問の件数を

入れて欲しい。

A：今後は、定例会毎の質問者数と質問事項を追加する。

Q：有明高校跡地の説明が地元住民に何もない。

機会を設けて説明して欲しい。一般質問をして、地元雇用や、地元食材を用いて欲しいと要望してもらいたい。

A：9月定例会の一般質問で、地元議員が要望している。

Q：高齢化社会なので、菱田改善センターのグラウンド（グラウンドゴルフ場）のトイレを洋

A：今後議会として要望する。

Q：野方地区の生活悪臭について、昨年も質問した

たが、悪臭対策をどのように考えているか。また、その進捗状況はどうか。

A：畑に堆肥を散布した場合は、すぐに耕運するなど適正な管理義務があり、担当課において指導を行っている。

Q：空き家対策について、

防犯・防災・景観等の問題があるが、高齢化が進み空き家が増加していく中で、町はどのような対策をしているか。

A：平成23年度から平成25

年度までの3年間で69件の危険廃屋解体撤去に対する事業補助を行っている。また、空き家の有効活用については、空き家リフォー

ム補助制度や空き家への入居者についても現在は条件等が緩和され助成を行っている。なお、防災上、衛生上の面からも空き家、空き地条例について提案しているが、検討中である。

Q：地方創生について、

どのような形で国が勧めるのか。また、町としてはどのような方向に考えているか。

A：都会への人口流出による、地方の人口減少対

策、活性化が地方創生事業で、今年の3月補正でも取り組みに関する補正が行われ、事業については、PFI事業による若者定住のための住宅建設などこれから示されていく。

Q：ふるさと納税については、どれくらいの納税があり、特産品の積極的な売り込み方法はどのようなものか。

A：昨年は、1000万円の実績があり、本年度は当初3000万円の目標であったが、インターネットPRの効果や特産品の品目もマシゴをはじめ約120品目と増えたことにより4月から8月末で